



南西アジアグローバル展開可能性調査

-パキスタンの繊維産業-

日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部

2025年3月

目次

- I. パキスタンにおける繊維産業**
- II. 繊維関連企業へのヒアリング結果**
- III. 今後の見通し**

I. パキスタンにおける繊維産業

1-1 | 繊維産業概要①パキスタンの綿花生産

- 繊維産業はパキスタンの工業部門の基幹産業であり、工業生産高の46%を占める。
- 繊維部門はGDPの8.5%を占め、輸出総額の50%以上を占める。
- パキスタンは、インド、中国、米国、ブラジルに次いで**世界第5位の綿花生産国**であるが、一定量も輸入。

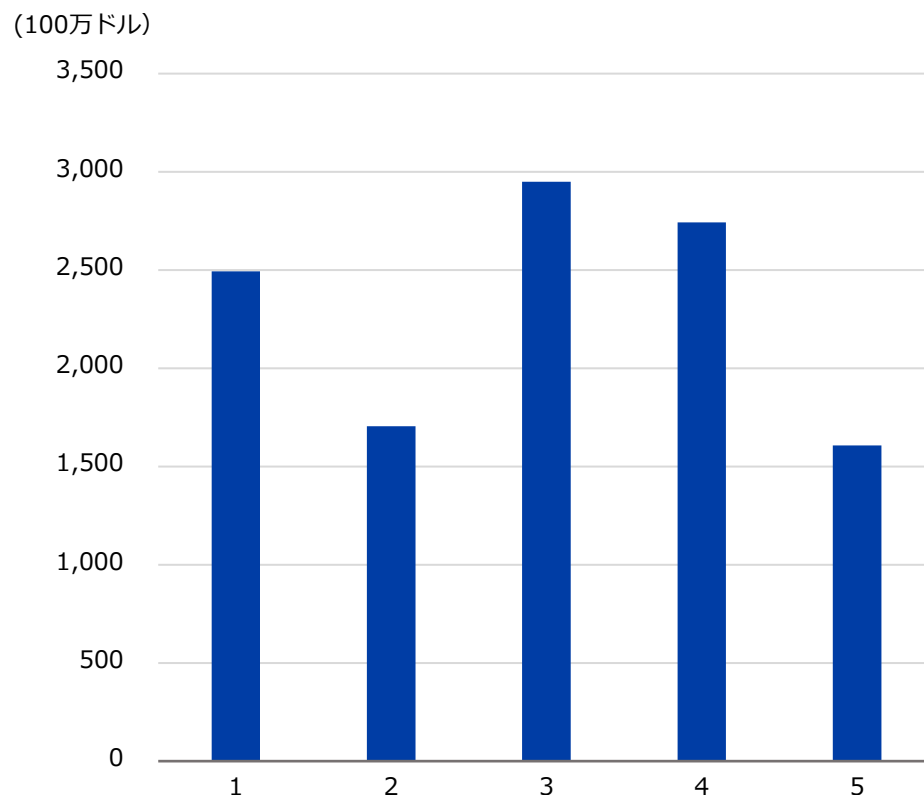
綿花の作地面積・生産量・収量

(年度) ※	面積 千ヘクタール	生産量 千トン	収穫量 kg / h
2019/2020	2,517	9,148	3,364
2020/2021	2,079	7,064	3,398
2021/2022	1,937	8,329	4,300
2022/2023	2,143	4,910	2,290
2023/2024	2,424	10,223	4,217

(※) パキスタンの会計年度は7月～翌年6月

(出所) パキスタン中央銀行公表資料等からジェトロ作成

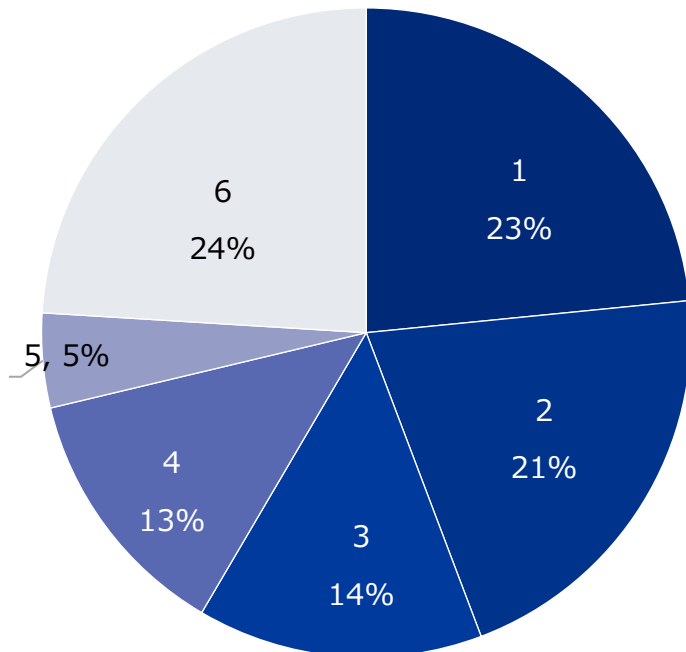
綿花 (HSコード52) の輸入推移 (金額ベース、年度)



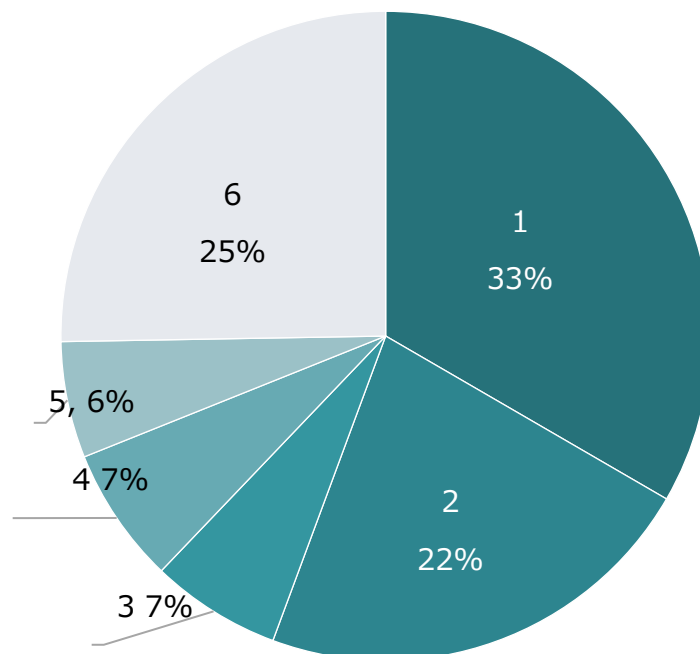
1-2 | 繊維産業概要②世界の綿花生産状況

- 2023/2024年度の世界の綿花生産量は約2,470万トンで、前年度と比較して3.7%減少。主に中国と米国における生産量減少が影響した。
- 中国とインドは世界最大の綿花生産国であり、それぞれ全世界生産量の23%と21%を構成する。パキスタンは同5%。
- 2024/2025年度のパキスタンの綿花生産目標は1,090万バール（1バールは約180kg）。国内の生産地は2州に集約されており、パンジャブ州で37.6%、シンド州で62.4%を生産する。
- 2022年に発生した大洪水の影響でパキスタンの綿花生産が深刻な打撃を受け、2022/2023年度には前年度比41%の減少を記録。また、綿糸と綿織物の生産量がそれぞれ同22.1%減少、同12.4%減少となった。その結果、2020年時点では2.2%近くあったパキスタンの世界繊維市場における全体的な市場シェアは、1.7%程度にまで落ち込んだ。現在では回復傾向にある。

綿花生産上位国（2023/2024年度、構成比）



綿花消費上位国（2023/2024年度、構成比）

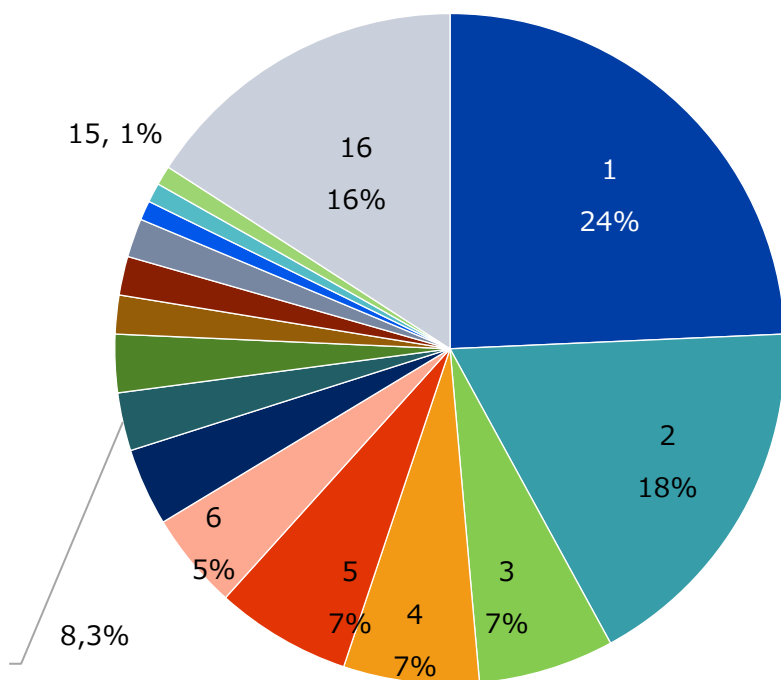


（出所）パキスタン政府公表資料等からジェトロ作成

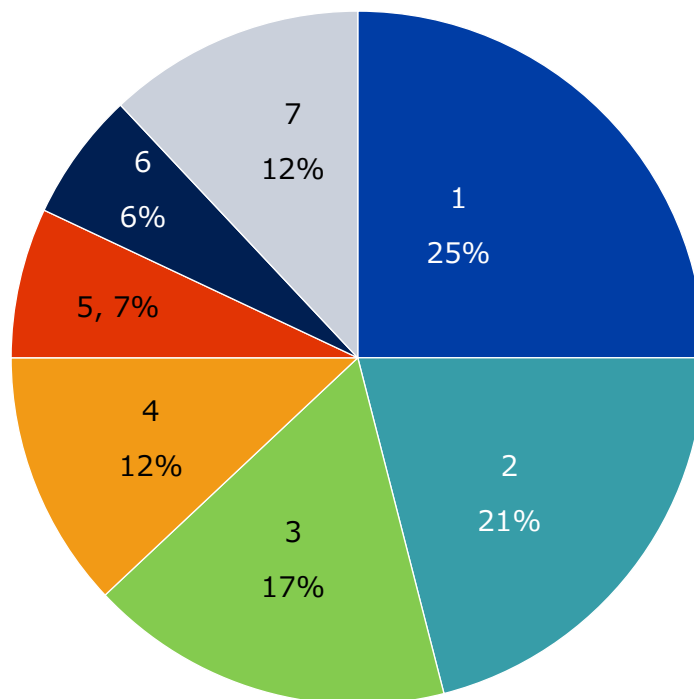
1-3 | 繊維産業概要③各繊維製品の貿易状況

- パキスタンにおける主要繊維製品の輸出は、世界シェア約2%で、最大の輸出先は米国（24%）。
- 品目別には、ニットウェアが最大の25%で、既製服（21%）、寝具（17%）、綿布（12%）が続く。

国別・繊維製品輸出先構成比（2023/2024年度）



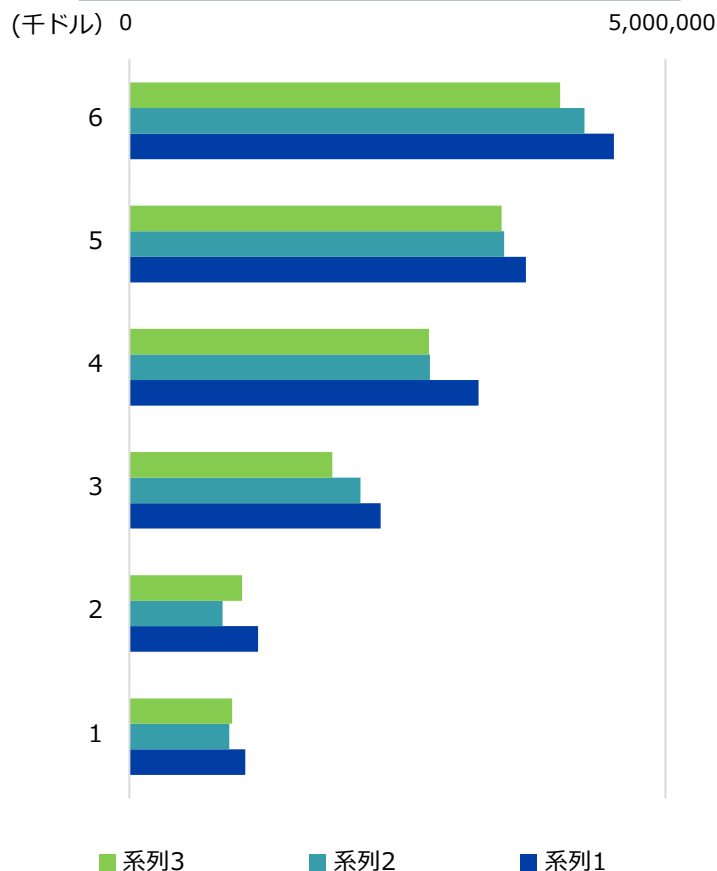
部門別・繊維製品輸出構成比（2023/2024年度）



1-4 | 繊維産業概要④各繊維製品の輸出状況

- 各製品の主要輸出先を確認すると、ニットウェアは米国が最大で構成比38%、既製服も同じく米国が最大で同30%を占める。綿布・紡績に関しては中国（構成比22%）、バングラデシュ（18%）、米国（6%）と続く。

部門別輸出推移（金額ベース、年度）



部門別主要輸出先（構成比、2023/2024年度）

ニットウェア

HSコード61:

- 米国 (38%)
- 英国 (14%)
- ドイツ (8%)
- 日本 (0.6%)

既製服

HSコード62:

- 米国 (30%)
- スペイン (11%)
- 英国 (10%)
- ドイツ (10%)
- オランダ (9%)
- 日本 (0.4%)

綿布・紡績

HSコード52:

- 中国 (22%)
- バングラデシュ (18%)
- 米国 (6%)
- イタリア (6%)
- トルコ (5%)
- 日本 (2%)

1-5 | 繊維産業概要⑤主な繊維部門

- 繊維産業は、パキスタンにとり最も重要な製造業部門で、付加価値製品のほぼ4分の1を占めるほか、労働力の約40%に雇用を提供している。
- 関連工場は主にカラチ、ラホール、ファイサラバードに集中しており、アディダス、プライマーク、プーマ、H&M、ターゲットなど、国際的なブランドが多数集積している。

主な繊維部門	
綿紡績	<ul style="list-style-type: none"> ● パキスタン国内における稼働中の紡績機は970万本、紡績用ロータは12万6,583本で、稼働率は70%程度。 ● 糸の生産量全体に占める割合は、合成繊維または混紡糸が最も多い。また、高品質と見られる細番手の糸に比べて、太番手および中番手の糸の生産量が多い。
綿織物	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間生産量は比較的安定。染色加工前の生地を生産は、染色およびプリント生地に次いで、生地生産全体の中で最大のシェアを占めている。
織および染色	<ul style="list-style-type: none"> ● 織物産業は成熟期にあり、競争環境が激化している。企業規模を問わず、比較的均質な製品が製造されている。生産量の大部分は、衣料品やホームテキスタイルなどの付加価値製品や完成品に使用されている。
ニットウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● パキスタンのニットウェア部門は3,500社で構成されており、うち小規模企業が85%で最多、中規模企業が10%、そして大規模な総合工場はわずか5%となっている。なお、同部門は国内の100万人を超える人々に直接または間接的に生計手段を提供している。 ● 同部門で生産されるニット衣類と靴下は、付加価値の面で重要な役割を果たしている。

2 | パキスタンの繊維産業政策

繊維産業政策2020～2025（Textile Policy 2020-2025）

- 2025年までの輸出金額を400億ドルに引き上げるため、本政策では以下の施策が盛り込まれた。
- ① 技術向上：繊維およびアパレル機械、予備部品、付属品、染料および化学薬品を含むSBPスキームの適用範囲拡大
- ② インフラ開発および工業団地の設置
- ③ ベースラインモニタリング報告書（BMR）および生産能力拡大のための支援産業
- ④ 関連産業の強化（繊維機械の現地製造促進および合成繊維の供給確保）
- ⑤ 中小企業における事業コストの削減および電子商取引関連プロジェクトの促進
- ⑥ 暫定輸入スキームの見直しによる製造業の促進
- ⑦ 国際市場および国内市場における産業の公平な競争条件の確保、テクニカルテキスタイルの研究開発促進

Ⅱ．繊維関連企業へのヒアリング結果

1 | ヒアリング先企業一覧（計12社）

- 以下の企業にパキスタンの繊維産業における課題と日本企業の事業課題についてヒアリングを行った。

企業名	本社	製品	輸出先
1 Interloop Limited	パンジャブ州 ファイサラバード	ソックス、タイツ、デニム、アクティブ ウェア、アパレル	米国、英国、EU USA、EU、UK
2 Gul Ahmed Textiles	シンド州 カラチ	ホームテキスタイル（寝具、カーテン）	ドイツ、英国、米国、オランダ、 スウェーデン
3 Sapphire Textiles	パンジャブ州 ラホール	ホームテキスタイル（寝具、カーテン、 キッチンリネン）	デンマーク、米国、スペイン、 ポーランド、日本
4 Liberty Mills	シンド州 カラチ	ホームテキスタイル（寝具、カーテン、 キッチンリネン）	米国、英国、EU、オーストラリア
5 Yunus Textile Mills	シンド州 カラチ	ホームテキスタイル（寝具、カーテン、 キッチンリネン）	米国、英国、EU、カナダ、 オーストラリア
6 Rajby Industries	シンド州 カラチ	デニムおよびその他アパレル	米国、英国、EU
7 Masood Textile Mills	パンジャブ州 ファイサラバード	ニットアパレル	米国、EU、アジア
8 AL Karam Towels	シンド州 カラチ	タオル等	米国、英国、EU
9 Blue Stitch Co	パンジャブ州 ラホール	デニムおよびワークウェア	ドイツ、ポーランド、英国
10 Feroze1888 Mills	シンド州 カラチ	タオル、ヘルスケア、医療用必需品、 アパレル	米国、カナダ、EU、英国
11 Alkaram Textile Mills	シンド州 カラチ	生地、アパレル、ホームテキスタイル	米国、フランス、ドイツ、英国、 スウェーデン
12 Opal Apparels	シンド州 カラチ	ホームテキスタイル、既製服、工業用テ キスタイル	ドイツ、米国、イタリア、EU、 英国

2-1 | INTERLOOP LTD.



- 1992年創業、3万4,000人の従業員を擁する。年間売上高は5億2,900万ドル。
- 100%輸出企業として、靴下、デニム、スポーツウェア、アパレルの4つのカテゴリーで事業を展開。
- 同社の主な顧客には、ナイキ、アディダス、プーマ、ターゲット、リーバイス、H&M、ザラ、ユニクロなどの世界的に有名なブランドが含まれている。
- 輸出先内訳：米国（58%）、EU（26%）、英国（15%）

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共料金： エネルギー供給の不安定。 ● 製品単価： 高い投入コストが競争力低下につながる。 ● 技術労働力： 熟練労働力の不足が技術進歩を妨げる。 ● 労働賃金： インフレにより賃金水準が高騰。 ● 政策： 一貫性のない政策が長期的な計画と競争力を妨げる。 ● 研究開発/借入コスト： 高金利がイノベーション等への投資制限となっている。 ● 原材料： 輸入部材への依存。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ニットウェア、アパレル、デニムおよびノンデニム、シームレスのアクティブウェアの日本への輸出に関心。 ● パキスタン：中国の代替供給源としての強みは、品質、納期遵守、綿花生産国であること、EUへの輸出に対する関税上の優遇措置、EUや米国などの強力な顧客基盤。

取引実績

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ナイキ	靴下	147
ターゲット	靴下、 デニム	66
アディダス	靴下、 ニットウェア	20
プリマーク	靴下	41
H&M	靴下、 アクティブウェア	21

(出所) 同社提供

2-2 | GUL AHMED TEXTILES



- 1953年創業、1万5,000人の従業員を擁する。年間売上高は6億ドル。日本企業との関係では、ニトリやシキボウと取引実績がある。
- 同社は、布団カバー、掛け布団、キルト、シーツセット、ウィンドウパネル、シャワーカーテン、テーブルカバー、ナプキン、装飾用枕等を輸出。英国と米国に支社を有する。

課題

事業機会

- **エネルギーコスト：**
エネルギーコストの上昇は企業にとって大きな課題。パキスタン政府の政策は一貫性を欠き、投資家に対してはあまり協力的ではない。

- デジタルプリント、持続可能な染色プロセス、自動織り技術などの先進的な繊維技術を持つ日本企業との提携は、品質の向上につながるため期待を寄せている。
- 日本の品質管理、ジャストインタイム方式の在庫管理、環境に配慮した生産などの先進的な取り組みは、グローバル市場で戦っていくために必要不可欠。
- 日本が好む高級で仕上がりの良い織物は、装飾的で複雑なデザインに秀でたパキスタンの専門技術と親和性がある。
- パキスタンは、特に綿ベースの織物や持続可能な織物の代替サプライヤーとしての地位を確立している。中国と比較して人件費が低いため、製造コストを抑えることができる。

取引実績

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
イケア	ホームテキスタイル	80
ウォルマート等	ホームテキスタイル	70
セインズベリー	ホームテキスタイル	10
ドルマ	ホームテキスタイル	10
ロベルトカヴァリ	ホームテキスタイル	N/A

(出所) 同社提供

2-3 | SAPPHIRE TEXTILE MILLS



- 1969年創業、7,750人以上の従業員を擁する。年間売上高は1億3,300万ドル。
- 綿花の栽培から完成品生産までを一貫して手掛ける。輸出比率は95%。

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 労働コスト： 現在は競争力があるが、将来的には上昇する可能性がある。 ● 環境への取り組み： 重要ではありつつも、段階的な投資で対応可能。 ● 研究開発／借入コスト： 短期的な競争力にはそれほど影響していないと理解。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住商モンブランに製品供給を10年以上行っている。今後は、ニトリ、無印良品、イオン等との取引を希望している。 ● 日本との協業という観点では、サステナブル素材において大きな可能性がある。 ● 日本企業は、高品質と持続可能な調達に重きを置いていると思われ、同社の事業形態は日本市場ニーズに適合する。 ● パキстанは、強固な繊維インフラが確立されており、コスト競争力のある労働力、有利な貿易特惠（EUとのGSPプラスなど）により、繊維製品の供給拠点として中国に代わる現実的な選択肢となる。 ● またパキстанは、日本の輸入要件を満たすと同時に、中国よりもコスト効率の高いソリューションを提供できる可能性がある。

取引実績

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ザラ、カルバン クライン等	寝具	25
トミー ヒルフィガー等	シーティング	25
ドルマ等	カーテン	2
ホームアンド ユー	テーブルリネン	1

(出所) 同社提供

2-4 | LIBERTY MILLS LIMITED

- 1964年創業、1,815人の従業員を擁する。年間売上高は2億5,900万ドル。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 高コスト： 中国、インド、バングラデシュ、ベトナム、インドネシアと比較してエネルギー料金が高い。 ● 物流費： 物流費の変動。 ● 農産物： 農産物の低需要。 ● コスト圧力： ブランド／小売業者からのコスト圧力。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国と比べた際の優位性は、労働コストが低いこと。 ● パキстанは、中東、ヨーロッパ、米国などの主要市場に地理的に近いという利点がある。

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ターゲット	フランネルシャツ	12
ASDA	オープンシャツ	11
TBG	オープンシャツ	10
カルフル	ジャージシャツ	8
JYSK	オープンシャツ	6

(出所) 同社提供

2-5 | YUNUS TEXTILE MILLS LIMITED



- 1998年創業、3,000人超の従業員を擁する。年間売上高は、2億7,500万ドル。
- 同社の製品には、ベッドシーツ、布団、掛け布団、羽毛布団、ウィンドウ／シャワーカーテン、アパレルなどがある。フランスと米国に販売店、デザインスタジオ、倉庫を構えている。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 高コスト： 関税、光熱費（エネルギーおよびガス代）はかなり高い。 ● 政府方針： IMFの影響により、政府方針は業界にとってサポータティブではなくなっている。 ● 借入／研究開発： 現時点では、高金利であるため大型の新規投資が制限されている状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本では高級家庭用品への関心が高まっており、寝具、カーテン、クッションなどの分野に可能性がある。 ● パキスタンの繊維メーカーは、マイクロファイバー、フリースなどの製品多様化を開始している。従来、これらの製品は中国の得意分野であり、パキスタンが代替調達先となる可能性もある。 ● パキスタンの輸出業者／メーカーは外部委託業務への依存度が低い。そのため、サプライチェーンの厳格な管理が可能となり、ビジネスパートナーとの長期的なビジネス契約の締結に有利となる。

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ターゲット等	シーツ	160
ウォルマート等	掛け布団	40
JCペニー等	キルト等	30
イケア等	カーテン	10
コストコ等	寝具	30

（出所） 同社提供

2-6 | RAJBY INDUSTRIES



- 1972年創業、8,000人超の従業員を擁する。年間売上高は8,000万ドル。
- 同社は、あらゆる種類のウォッシュ加工を施したデニムジーンズの生産に精通している。また、持続可能な製品の開発に取り組む研究開発チームも有している。本社はカラチに所在し、100%輸出企業である。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 光熱費： パキスタンの光熱費は非常に高いが、供給不足は発生していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本は繊維製造、特にデニム分野において高度な技術で知られているため関心を抱いている。 ● 日本には、デニム生地を生産と仕上げ技術において業界を牽引する企業を要する。これらの企業は、セルヴィッジデニムのような、独特な風合い、仕上げ、耐久性を持つ生地製造に重点を置いている。パキスタンの繊維産業は同国最大の産業のひとつであり、最も競争力のある分野であるため、日本との協業の余地は多くある。 ● パキスタンは、EUへの輸出に際して関税上の優遇措置がある。

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
H&M	ジーンズ	12
エアロ ポステール	ジーンズ	13
LIDL	ジーンズ	8
タリー ウェイジル	ジーンズ	6
マンゴ	ジーンズ	10

(出所) 同社提供

2-7 | MASOOD TEXTILE MILLS LIMITED



- 1994年創業、従業員2万8,000人を擁する。年間売上高は4億ドル。
- 同社は、紡績からニットイング、梱包・出荷まで手掛けるニットウェア企業である。デザインスタジオおよび販売店を含めた海外拠点を米国、ヨーロッパ、アジアに展開する。輸出率は100%。

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 高コスト： インフレ率、最低賃金、高金利、燃料およびエネルギーコストといったパキスタンのマクロ経済要因による製品製造コストが高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パキスタンは綿花生産国としては世界最大級であり、原材料の供給量は膨大。そのため、日本にとって非常に有望なパートナーとなり得る ● パキスタンではサステナビリティへの取り組みが進み、BCIコットン、リサイクルポリエステル、コットンリサイクルなどの製造が順調なペースで増加。

取引実績

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ヒューゴボス	ニットウェア	—
カルバンクライン	ニットウェア	—
ザラ	ニットウェア	—
JCP	ニットウェア	—
PVH	ニットウェア	—

(出所) 同社提供



2-8 | AL KARAM TOWEL INDUSTRIES LIMITED

- 2002年創業、550人超の従業員を擁する。年間売上高は1億700万ドル。
- 紡績、織り、糸染め、染色、縫製、倉庫、印刷、リサイクルポリ袋製造、ラベル製造を行う統合型の企業である。また、輸出専門企業であり、主な輸出市場は米国（68%）、英国、EU（29%）、中東（3%）である。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 光熱費の高騰と停電 ● インフレ率の上昇 ● 金利と借入コストの上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ● パキстанは、中国の代替供給拠点として有望である。その要因は以下の5つの通り。 <ol style="list-style-type: none"> ① 戦略的な立地：中東、中央アジア、ヨーロッパに近接 ② 低労働コスト：中国と比較して競争力のある労働コスト ③ 投資に有利な政策：外国投資家に対する政府のインセンティブ ④ 熟練労働力：熟練労働者および半熟練労働者が豊富 ⑤ インフラ開発：輸送および通信の改善

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ウォルマート	綿タオル	39
ASDA	綿タオル	10
ブリマーク	綿タオル	6
メイジャー	綿タオル	1
KIK	綿タオル	1

(出所) 同社提供

2-9 | BLUE STITCH (PVT) LTD.



- 2021年創業、550名以上の従業員を擁する。年間売上高は350万ドル。
- ワークウェアを専門とするアパレルメーカーで、主な顧客はEU圏内にある。同社は製品の80%を輸出している。

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 関税 輸出に対する関税障壁によりコストが増加。 ● ユニットあたりのコスト 非効率なプロセスが原因で生産コストが上昇。 ● 原材料 中国からの原材料輸入に依存。 ● 政府政策 一貫性のない政府政策と輸出インセンティブの欠如。 ● 借入/R&Dコスト 高い金利と研究開発資金へのアクセスが限定的。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産コストの上昇とハイテク産業への戦略的シフトにより、繊維・アパレル製品の主要サプライヤーとしての中国に代わる他国の役割が増しており、パキスタンが代替サプライヤーとして台頭する好機となっている。 ● パキスタンのアパレル産業、特にワークウェアは、この地域のなかでも最低水準にある労働コストの競争力により、中国からの移転により大きな利益を得られる見込みがある。

取引実績

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
—	ワークパンツ	—
—	ワークデニム	—
—	ファッション ジーンズ	—

(出所) 同社提供

2-10 | FEROZE1888 MILLS Ltd.

- 1970年創業、従業員1万超を擁する。年間売上高は、2億4,500万ドル。
- 特殊糸および繊維製品の製造・輸出業者で、製品のほぼ100%が輸出されている。

取引実績

課題	事業機会
回答なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 同社は多様な製品ラインナップ、垂直統合生産施設（ファイバーから最終製品まで）、品質と持続可能性への取り組みを特徴としている。 ● パキスタンは、中国からの移転を検討している日本企業にとって、ホームテキスタイルの潜在的な供給拠点となる可能性がある。理由は以下の4つ。 <ol style="list-style-type: none"> ① 確立された繊維産業 ② 輸入関税-競争力のある価格 ③ 品質とデザイン ④ 政府の支援

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
H&M	バス・ビーチ用品	—
ネクスト	バス・ビーチ用品	—
ラコステ	バス・ビーチ用品	—
ディズニー	ビーチタオル	—

(出所) 同社提供

2-11 | Alkaram Textile Mills Pvt. Ltd



- 1986年創業、8,700人超の従業員を擁する。2023/2024年度の年間売上高は1億6,800万ドル。
- 同社は、パキスタンに本社を置く世界有数の繊維会社である。米国、英国、フランス、ポルトガルで事業を展開しており、国際的に高い評価を得ている。
- 生地、アパレル、ホームテキスタイルなど、幅広い高品質製品を提供しており、生産量の82%を輸出、18%を国内市場向けに販売している。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 関税： 原材料輸入にあたって高関税が課せられる。 ● 公共料金 特に電気とガスに関しては、公共料金が高く、供給も安定していない。他方で、同社は再生可能エネルギーへの投資を行っている。 ● 政府の政策 頻繁な政策変更が産業の課題となっている。 ● 借入金と研究開発のコスト 高金利と研究開発への取り組みが限定的。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の専門知識の活用：日本企業との協力により、パキスタンの繊維産業の高度化、製品品質とデザインの改善が可能となる。 ● 技能開発：パキスタンは日本と協力し、研修プログラムや技術教育を通じて繊維産業従事者の技能を向上させることができる。

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
ターゲット、コストコ、ウォルマート、WSI	シーツセット (寝具)	42.5
イケア、ターゲット、コストコ、WSI、ウォルマート	デュベ (羽毛布団)	32.8
ターゲット、コストコ、ウォルマート、WSI	掛け布団	19.4
イケア、WSI	キルトカバー	17.7
イケア、ターゲット、WSI	カーテン	15.2

(出所) 同社提供

2-12 | OPAL APPARELS

- 2011年創業、年間売上高は800~1,000万ドル。ヨーロッパと北米に複数の顧客を有する。
- 同社は、顧客とサプライヤーのマッチング事業を手掛けており、高い透明性と倫理観に基づいて製造された製品の調達に貢献している。

取引実績

課題	事業機会
<ul style="list-style-type: none"> ● 関税： サウジアラビアなどのGCC諸国やカナダの関税率は著しく高く、輸出の競争力を損なっている。 ● 技術労働 パキスタンの技術労働市場には潜在力があるが、教育、インフラ、政策改革への戦略的投資が不足している。 ● 借入コスト/研究開発 イノベーションのための投資が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国が資源を過剰に消費し、米国が中国製品への課税を行ったことにより、拠点のシフトを本格的に検討し始める企業は多い。外部要因の変化を背景に、パキスタンが中国の代替移転先の候補となる可能性が増している。

企業	製品	年間輸出額 (百万ドル)
スポーツ テイラー	ショーツ	1.1
ローブマート	バスローブ	0.75
LPP (シンセイ)	衣類	0.35
クリッパー	作業着	0.2
サンガーデン	ホームテキスタイル	6.5

(出所) 同社提供

Ⅲ. 今後の見通し

1 | パキスタンの繊維産業における課題

■ 綿花および関連製品への経済依存度の高さ

パキスタン経済は綿花を原料とする繊維製品に大きく依存してきた。しかし、不安定な気象条件と収穫量の低下により、基幹産品多角化の必要性が浮き彫りになってきている。

■ 原材料コストの高騰

洪水被害等による綿花生産量の減少と、借入コストの上昇により、糸・織物・綿花原料などの原材料価格が上昇している。その結果、パキスタンの繊維産業の競争力に悪影響を与えている。

■ イノベーション、技術革新、研究開発への投資不足

合成繊維やポリエステル繊維への技術革新と高付加価値製品開発により重点を置く必要がある一方で、中堅・中小企業による同分野への投資は限定的である。政府主導のインセンティブがありながらも、付加価値成長は緩やかな状況。

■ エネルギー危機

ガスの供給停止や、昨今のガスおよび電気料金の値上げにより、過去2年間で光熱費は倍増した。

■ 厳しい経済環境

足元の経済状況は厳しい状態が続いており、信用状発行（L/C）の制限、輸出業者への払い戻しの遅延、原材料や機械の輸入制限、パキスタンルピーの大幅切り下げ、高インフレ、地方税および地方課徴金の控除（DLTL）の中断などが繊維産業の競争力を低下させている。

■ 競争の激化

パキスタンの繊維産業はバングラデシュ、ベトナム、インド、タイなどの国々との熾烈な競争に直面している。一方で、パキスタンは国内で高騰する光熱費や賃金、投資が十分に行われていない状況により、他国との競争に打ち勝つことが困難になっている。そのため、大きな市場アクセスを獲得することが難しい状況。

2-1 | EU市場向けの輸出成長潜在力①

- EUはパキスタンにとって2番目に重要な貿易相手国である。2023年のパキスタンの総貿易額の15.3%を占めており、EU市場向けのパキスタンからの輸出の80%以上を繊維製品が占めている。
- ヨーロッパは強力なアパレル市場を有し、世界最大級のアパレル企業の本拠地でもある。EUのアパレル製品輸入額は2022年に1,914億ユーロと2017年の同1,380億ユーロから拡大している。また発展途上国からの輸入は、アパレル製品輸入総額の49.5%と、2017年の同48.8%から増加、市場自体も2017年から2022年にかけて年平均6.75%の割合で成長した。
- 欧州市場は他国の市場と比較しても多様性に富んでおり、サプライヤーはより高いレベルのデザインや素材の提供が必要とされる。
- EU域外からのアパレル製品輸入はアジア諸国が大半を占めている。中国は長年にわたりEUへのアパレル製品輸出で単独首位を維持しており、金額ベースで輸入の約15%を占めているが、そのシェアは2017年の17%から減少しており、次いでバングラデシュが11.5%、トルコが6%となっている。バングラデシュ、トルコ、パキスタン、ベトナム、ミャンマーは、2017年から2022年の間にEUのアパレル輸入市場におけるシェアを拡大しており、バングラデシュは2%ものシェア拡大を達成した。

2-2 | EU市場向けの輸出成長潜在力②

- パキстанは2014年から、EUの一般特惠関税（GSP）の優遇制度であるGSPプラスによってEU市場に優先的にアクセスできるようになった。繊維製品や衣類を含むパキстанからの輸出の76%以上で輸入関税が免除されており、パキстанの全世界向け輸出金額の約20%に相当する関税が免除されている計算となる。
- 2023/2024年度におけるパキстанのEU主要10カ国への輸出額は56億ドルで、全世界向けの繊維製品輸出総額の34%近くを占めている。

EU主要10カ国へのパキстан繊維製品輸出（2023/2024年度、100万ドル）

カテゴリー	スペイン	ドイツ	オランダ	イタリア	ベルギー	フランス	ポーランド	デンマーク	スウェーデン	オーストリア
61.衣類及び衣類附属品	459.7	353.3	328.2	102.1	163.0	77.5	76.0	28.1	12.7	3.2
62.衣類及び衣類附属品	438.1	302.6	308.5	154.8	86.6	74.1	86.0	72.8	37.6	5.6
63.紡織用繊維のその他の製品	217.2	406.2	356.4	282.8	140.1	209.6	105.3	86.9	46.1	2.3
52.綿及び綿織物	86.3	74.9	69.6	157.8	45.5	11.9	35.0	1.2	1.5	1.2
57.じゅうたんその他の紡織用繊維の床用敷物	1.5	3.4	0.5	2.1	0.4	1.5	0.5	0.1	0.2	0.9
その他	9.7	22.8	13.1	34.2	10.0	6.0	9.1	1.3	1.2	0.3
合計	1,212.5	1,163.3	1,076.2	733.8	445.6	380.6	311.9	190.4	99.3	13.5

（出所）パキстан中央銀行公表資料からジェトロ作成

3 | 米国市場向けの輸出成長潜在力

- 米国市場では、アパレル製品の大部分を輸入に依存している。世界全体で見ても、米国はアパレル製品の輸入額でEUに次ぐ世界第2位の輸入国となっている。
- 今後、米国のアパレル製品輸入額は2022年の1,050億ドルから2026年までに1,175.2億ドルに増加すると予測されている（HSコード61および62〈衣類及び衣類附属品〉に該当する製品を合計）
- 米国のアパレル製品の主要輸入相手国は中国、ベトナム、バングラデシュ、インドである。特に中国、ベトナム、バングラデシュは、伝統的に米国へアパレル製品の輸出を行っており、米国市場において、パキスタンの直接的な競合先となっている。これらの国々はパキスタンに比べ多品目製品を米国向けに輸出しているだけでなく、各製品の単価もパキスタンの輸出品に比べ高い。
- パキスタン・ビジネス・カウンスिल (PBC) によると、パキスタンは米国にとって、HSコード61品目では10番目の輸入相手国、HSコード62品目では9番目の輸入相手国となっている。2022年には、中国が236.5億ドル、ベトナムが188.7億ドル、バングラデシュが98.3億ドル、インドが60億ドル、パキスタンが29.8億ドルのアパレル製品を輸出している。
- 米国のアパレル製品輸入の予測成長率は、中国とベトナムの輸出が減速するにつれ、バングラデシュ、インド、パキスタンの米国向け輸出が伸びることが示されている。現在の輸出状況から、2026年にはパキスタンの米国向けアパレル製品輸出額は45億ドルに達すると予測されている。

(出所) Pakistan Business Council The US Market for Imported Apparel & Pakistan | Pakistan Business Council

4 | まとめ

- パキスタンは豊富な綿花生産量を誇り、綿花については国際的に認知された強力な顧客基盤を有している。
- 繊維製品はパキスタンの主要輸出品目のひとつであり、同製品の輸出およびグローバル展開はパキスタンの繊維産業にとって不可欠な要素である。同産業はパキスタン経済への貢献度も大きく、世界的に見ても存在感が大きい。2023/2024年度の繊維製品の総輸出額は163億ドルで、パキスタン政府は2020年から2025年までに400億ドルに増やすことを目標としている。
- 米国はパキスタンの繊維製品の主要輸出先であり、EUと中東がそれに続く。技術の高度化や研究開発部門における日本企業との協業は、パキスタン側および日本側双方にとって有益である。
- 訓練された低コストの労働力、競争力のある価格設定、国際規制の順守により、多くの国際企業がパキスタンで製品を製造するようになった。
- パキスタンの輸出潜在力は、その地理的位置からも大きな影響を受けている。南アジア、中央アジア、中東の交差点に位置するパキスタンは、EUなど主要市場の近くにある。この地理的近接性は、物流面での利点、輸送コストの削減、国際市場への迅速なアクセスを実現可能とする。パキスタンは、米国が中国に課している関税の影響で、サプライチェーンの再構築で発注の増加という恩恵を受けることが期待される。
- パキスタンは中国と比較して人件費が大幅に廉価であり、企業にとって大幅なコスト削減につながる。
- バングラデシュは2026年に後発開発途上国（LDC）のステータスを卒業が予定されており、これによってEUにおけるGSPの対象外となり、アパレル製品の平均輸入関税率が0%から約12%に上昇する可能性がある。そのため、パキスタンとしては価格競争力がより強化される。

参考文献一覧

- <https://ptc.org.pk/value-chain-in-textile-industry-of-pakistan/>
- <https://www.pbc.org.pk>
- <https://tdap.gov.pk/>
- <https://www.cbi.eu/>
- <https://www.icac.org/>
- <https://www.sbp.org.pk/>
- <https://invest.gov.pk/>
- <https://pacra.com/>
- <https://vis.com.pk/>
- <https://oec.world/en/profile/hs/textiles>
- https://policy.trade.ec.europa.eu/eu-trade-relationships-country-and-region/countries-and-regions/pakistan_en#:~:text=1.%20The%20EU%20is%20Pakistan's
- <https://www.cbi.eu/market-information/apparel/what-demand>
- <https://ustr.gov/issue-areas/trade-development/preference-programs/generalized-system-preference-gsp>
- [PHMA | Pakistan Hosiery Manufacturers & Exporter Association - PHMA | Pakistan Hosiery Manufacturers & Exporter Association](#)
- [Pakistan Readymade Garments Manufacturers and Exporters Association](#)
- [APTMA – All Pakistan Textile Mills Association](#)

レポートをご覧いただいた後、 アンケートにご協力ください。

(所要時間：約1分)

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20240051>



レポートに関するお問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部アジア大洋州課



03-3582-5179



ORF@jetro.go.jp



〒107-6006

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

■ 免責条項

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載